



**長 崎 県**  
中小企業家同友会

**DOYU**

ニュース  
**21**

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp  
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

## 同友会理念を学び深め、21世紀を切り拓く企業づくりを ＝地域に根ざした人間尊重の企業づくりを＝

### 第2回 長崎がんばらば塾 開催！



経営指針づくり委員会は、3月3日（土）アルカスSASEBO会議室にて第2回 長崎がんばらば塾を開講しました。

23名（報告者2名 受講生12名 委員9名）が参加し、企業経営の根幹を成す経営理念の作成に取り組みました。

報告者に（株）ミヤタ 宮田正一会員（大村支部）とユニオンソフト（株）濱田利夫会員（長崎出島支部）を迎え、宮田会員には経営指針とは何か、そして濱田会員には経営指針の実践報告を、自身の事例を交えながら報告頂きました。

「経営者の思いを表した経営理念。それを明確に『伝える』のが経営指針である」と宮田会員。また濱田会員も経営指針実践の社内の変化を報告。成文化の意義を学びました。

その後の理念作成ワークで、何のために経営をしているのか？自身の思いや、浮かんでくるキーワードを実際に書き出し、整理していくことで形

にして、更にグループ内での意見交換で、他の会員、先輩方のアドバイスを賜り、理念を完成させました。

今回は6月、諫早で開催予定です。今回参加できなかった皆さん、また理念作成・実践されているベテランの方もアドバイザーとして、次回はぜひご参加下さい。共に学び合いましょう！

長崎がんばらば塾にて参加者より頂いたアンケートです。

- ・ 解りやすい運営でした。ありがとうございました。
- ・ 貴重な時間でした。一人で考えるよりも、皆の考えを持ち寄ることで新しい発見がたくさん生まれました。
- ・ 当日の資料を入れるケースのようなものを、各自に配布すると良いと思う。
- ・ 時間が足りなかった。もっと長くしてほしい。
- ・ 今日出来上がった理念を更にわかりやすく、かつ独自のものにしたい。



皆さん、お疲れ様でした！

## 目次

|                                 |   |                      |    |
|---------------------------------|---|----------------------|----|
| 第2回長崎がんばらば塾開催！                  | 1 | 中同協 専門委員会・連絡会 参加報告   | 10 |
| 2月例会報告                          | 2 | 新入会員の皆さん             | 15 |
| コラム『53歳で、死んでいくことと、生きていく事を考えた時…』 | 8 | 会員情報                 | 16 |
| 長崎県産業労働部と第2回地域振興のための意見交換会開催報告   | 9 | 第41回定時総会、4月支部総会・例会案内 | 17 |
|                                 |   | 理事会議事録抜粋             | 17 |
|                                 |   | 会員消息・会員数             | 18 |

## 長崎浦上支部例会報告

|       |                                            |
|-------|--------------------------------------------|
| 日 時   | 2月14日(火) 午後6時30分                           |
| 会 場   | ギャラリーヘキサ                                   |
| テ ー マ | 「継承？創業？ 1.5代目の挑戦」<br>～(有)平和建材から平和建材へ、そして…～ |
| 報 告 者 | 平和建材 代表者<br>川口 圭典 会員                       |



今月の例会は、平和建材 川口圭典会員に報告して頂きました。テーマは「継承？創業？1.5代目の挑戦」。35名が集まった会場には、大分県中津支部より参加して頂いた方もおられ、熱い議論が展開されました。

元々、お父様が営んでおられた(有)平和建材に一大変革があり、一度解散。2代目を継承したという訳でもなく、1代目創業という訳でもなく1.5代目・・・といった複雑な事業の展開をされる中、同友会の経営フォーラム実行委員長長の活動も重なりさあどうしたものか！？ワクワク、ハラ



ハラしたそうです。同友会のメンバーの支え、協力を受け、事業もフォーラムも同時進行で成功することが出来たとの報告を受けました。

また、今まで基盤になっていた建材関係の売上が年々下がっていく中で、新しい事業形態や、これからすべきことは何なのか？という部分を「あなたが平和建材の社長だったら？」というテーマでディスカッション。一つの事業を継続していくことの難しさや、新規事業、販路拡大、エンドユーザーの獲得、コラボレーション等、様々な議論が繰り広げられました。

今回、赤裸々に語って頂いた川口会員のお人柄に敬意を表すとともに、参加された同友会の会員の皆様の発想力、つながりの素晴らしさに感動し、明日への大いなる活力となるととても素晴らしい例会となりました。ありがとうございました。

(文責 山下修一)

## 長崎出島支部例会報告

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 日 時   | 2月22日(水) 午後6時30分                      |
| 会 場   | サンプリエール                               |
| テ ー マ | 「ピンチをチャンスに変える」<br>～全国チェーンからの脱退、そして独立～ |
| 報 告 者 | (株)エコーズ 代表取締役<br>横山 伸司 会員             |

2月の長崎出島支部例会は、長崎では馴染みの深い配達ピザのチェーン店、ピザクルサにて本原店・城山店・中川店の3店舗でフランチャイズ経営を営む横山会員の報告です。

横山会員は見た目の雰囲気のまま、朗らかな人柄ですが、以前と比べると体型は別人の様に太ったとのこと、それはピザの試作品を試食し続けた結果であり、また温厚な人柄の影には根性と行動力の強さを感じられます。それは、学生から新社会人となる若い時に交通事故が原因で莫大な借金を背負って、マイナスからのスタートだったこと、



大手配達ピザチェーンを脱退して自分達の力で新しいチェーンを短期間で立ち上げた苦労などから伺えました。

ピンチをチャンスに・・・交通事故や大手FC脱会というピンチがなければ今の横山氏の会社は誕生していなかったともいえますが、一番は前向きな姿勢が生んだ結果とも思えました。

質問やディスカッションのなかでもピンチの時にどう乗り切るかとの意見で多くの会員から「あ



わてない」「考えすぎない」「時間が解決」など、意外に悠長な発言が目立ったのは経営者の皆さんが少々のピンチはピンチと感じない器の大きな方々だからこそその発言とも感じさせられました。

そして将来のビジョンについて具体的な目標と

希望を語って頂きました。現在、所有している店舗を各店長に売却し、自分は新事業にチャレンジしたいとの発言には意外性を感じ、驚きと同時に「さすが同友会！」と心の中で叫び、老後の為の2億円貯金の話も夢物語には全然思えないくらいに私の心の中に入ってきました。

同友会に入会して3ヶ月目の例会ですが、参加する度に新鮮な出会いと体験を与えていただき感謝すると同時に私も負けてはいられないとモチベーションが上がりました。

最後にプロジェクターを使用しない、言葉だけの報告が素晴らしかったです。

(文責 山口憲男)

## 大村支部例会報告

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 日 時   | 2月16日(木) 午後7時            |
| 会 場   | 長崎インターナショナルホテル           |
| テ ー マ | 知っていますか？「社労士の仕事」         |
| 報 告 者 | 高平社会保険労務士事務所<br>高平 雅文 会員 |



2月の大村支部の例会は、初めて大村支部への新入会会員の山本健太郎さん(株式会社Anne)と下坂美紀さん(株式会社ビーネン ミツバチ薬局)お二人にバッジ贈呈が行われました。

オブザーバーとしてV・ファーレン長崎の代表取締役 宮田伴之さんが参加され、一人でも多くの人に試合をぜひ見に来て、盛り上げて欲しいとのお願いがあり、皆から拍手で迎えられました。

今月は大村支部 高平雅文会員に「知っていますか？社労士の仕事」のテーマで報告いただきました。

主な内容として、就業規則や社内諸規定に関するものを定期的に見直すことにより、最新の法改正に対応出来るようになり、様々な労働問題の発生を防ぎ、また、個別労使間の紛争を回避し、早期に解決することが出来るようになるとの事。

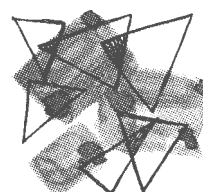


会社の他の社員の士気を下げ、会社の業績を低下させるような人への早めの対応、退職や解雇する際の問題、労働時間の問題等身近な労使間の問題等のケースについてどう対応するか？また、厚労省の助成金についても貴重な情報を頂き、出席者全員が、真剣に耳を傾けていました。

質疑応答の時間もたくさんの質問が出ていました。あっという間に終了となり、「後は個別に相談をしましょう」と最後まで誠実に対応して頂きました。

高平さん、ありがとうございました。

(文責 松野健助)



## 諫早支部例会報告

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 日 時   | 2月16日(木) 午後7時                    |
| 会 場   | 諫早観光ホテル 道具屋                      |
| テ ー マ | 明日からできる経営指針活用法 !!                |
| 報 告 者 | 永池税理士事務所 所長<br>永池 泰典 会員 (長崎浦上支部) |



2月例会は、永池税理士事務所所長 永池泰典氏より、同友会の目指す経営指針づくりの大切さの入口を終始笑顔で報告頂きました。

テーマは「明日からできる経営指

針活用法 !!」

内容は、①経営指針とは ②経営指針の失敗例 ③駄目な経営者の例 ④経営指針が何故必要か？ ⑤成文化前と後の違い ⑥重要ポイントなポイント ⑦成功した具体例 ⑧経営指針の変遷 です。

冒頭に、「経営者は片手にソロバン、片手にロマン」のお言葉にインパクトを感じ、自社の現実・強み・弱みの把握、収支分岐点の把握、資金繰り表作成、銀行との関わり、後継者へ渡していくまで等、すべてに関して同友会が示す経営指針の大切さを、わかりやすく報告頂きました。

例えば、長崎の企業は都会と比べて同業他社が少ないので分析がしやすい、一つ成功すれば無理をして進出、拡大するのは控えた方がよい。過度な節税をすることは成功しない。仮払いは抑える等、笑いを交えながら、質疑応答にも的確な回答を頂きました。

そして経営は、学者肌で勉強ばかりして頭デッカチにならない様にとも話されました。

また、社員との意思疎通のために、カウンセリ



ング法を御自身の体験・失敗例を交えてお話しされ、社員と一対一の時、経営者側が一方的に話さず、社員が話すまで辛抱し、待つ事が大切と話され、納得しました。

商品・顧客・営業・社員・組織・財務・管理などの分析。特にABC分析 優先順位付けし余計なものは削る等、ためになることばかりでした。

永池氏の笑顔のパワーもあり、参加者は自社の今の状況を照らし合わせたと思います。

同友会入会后、税理士の悪い点を会員から直接に言われたことがとても良かったと感謝されていました。永年、培ってこられた真実の報告でした。

その後のディスカッションは皆、真に燃えたことと言うまでもありません。

また、オブザーバーで長崎が誇るサッカーチームV・ファーレン長崎から竹村さん、加藤さんのお二人が参加され、応援依頼がありました。

同友会の仲間の素晴らしさと、スポーツでの地域活性力をもらい、更に出席されたオブザーバーの方々からも良いお言葉を頂き、充実した2月例会となりました。

(文責 杉本誠二郎)

新商品 長崎さるくマッパ



ダスキン栄進  
TEL823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎出島支部)

おかげさまで創業32周年

有限会社 プライアント保険

Tel : 0956-28-2425 <http://www.pliant.jp>

□本 店 佐世保市日野町70-4

□日野支店 佐世保市日野町1828-49 2F

□来店型ほけんショップ 佐世保市日野町1828-49 1F

橋口 久 会員 (佐世保支部)

## 島原支部例会報告

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 日 時   | 2月16日(木) 午後7時                    |
| 会 場   | ホテル南風楼                           |
| テ ー マ | 「地域密着の経営」<br>～ 6次産業の構築～          |
| 報 告 者 | (有)シュシュ 代表取締役<br>山口 成美 会員 (大村支部) |



今回の例会は、「地域密着の経営」というテーマで報告頂きました。

始めに「今、島原半島で旬な特産物は何ですか？」との問いに我々島原支部の会員も戸惑い、沢山の特産物があるにもかかわらず、なかなか思い浮かびませんでした。その地域で採れ、活かす素材を知らないと地域に密着した経営に繋がらない事に気付きました。

地域で採れる農産物を育て、出荷する農家を一次産業、それを加工するのを二次産業、その製品を直売所やインターネット等で販売するのを三次産業と言い、一次産業+二次産業+三次産業=六次産業と表すそうです。但し、山口氏が取り組んでおられる“六次産業”は一次産業×二次産業×三次産業=六次産業でまた違った角度から実践さ



れているとの事でした。生産・加工・販売のほかに、大村で採れた農産物を使ったレストランの経営もされており、そのレストランを結婚式場として利用し、地域で採れた野菜や花を使っての料理の提供や卓上に置くフラワーアレンジをゲストの方々に作って頂くなど様々な工夫をされている他、法要なども行っているそうです。また販売においては調理に必要な食材をセットでネット販売されたり、地域の特産物をフル活用された実に多彩なアイデアと実行力をもって実践されているという事でした。その背景には、人口の減少や消費者ニーズの変化・T P P問題があり、いかにその地域の特産物を加工し、付加価値をつけ、消費者に魅力を感じて貰い購入して頂けるかが大事で、その循環によって地域密着型の産業が定着し活性化されるという事を学びました。

今月はいつもより多くのオブザーバーの方々に来て頂き、島原にとって多くの“気付き”を与えて頂いた実り多き例会となりました。

(文責 田浦裕典)

## 佐世保支部例会報告

|       |                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------|
| 日 時   | 2月17日(金) 午後7時                                                 |
| 会 場   | 佐世保市民会館                                                       |
| テ ー マ | 起業そして事業継承                                                     |
| 報 告 者 | (有)サンエレック 代表取締役<br>山田 和三 会員<br><br>(株)坂元木工工芸 代表取締役<br>坂元 崇 会員 |

佐世保支部2月例会は「起業そして事業継承」のテーマで(有)サンエレック 山田会員に創業者としての想い、(株)坂元木工工芸 坂元会員には後継者としての想いをそれぞれの立場で報告して頂きました。



山田会員は勤務先の経営状況の悪化に伴い、退社。その後、後輩と共に会社を設立されました。途中、資金難も経験されましたが、現在では業績



を着実に伸ばし、これから5年後には右腕である専務に全てを継承するという考えを持たれ、自ら先頭に立ち仕事をされています。

坂元会員は3代目として2006年家業の木工店を継がれました。財務管理が不得手だった先代を反省し、自己分析を踏まえ決算書等の勉強を行い、社員のお手本となるべく地域社会、自社に貢献する為に頑張っておられます。

座長の私は、会社を辞めて好きな仕事ができる喜びを味わいながら起業した頃を思い浮かべ、懐



かしくお二人の報告を聞いていました。

業を起こし社長となる、2代目・3代目の後継者として社長となる・・・等、様々ではありますが、まずは自身が率先して仕事を行い、良い環境を造り、健全な経営を行い、人（社員）を育て継承について考え、夢を見つめる。社長としての資質を考えさせられる例会でした。

(文責 川下眞文)

## 北松浦支部例会報告

|     |                                                           |
|-----|-----------------------------------------------------------|
| 日 時 | 2月15日(水)・16日(水) 午後2時                                      |
| 内 容 | 移動例会：伊勢屋旅館<br>島原支部企業訪問：(有) シキシマ<br>(有) 上田自動車<br>(株) 落水正商店 |



2月の北松浦支部例会は恒例の移動例会。参加者9名と少し寂しくはありましたが、2日間にわたり、大変有意義な例会となりました。

まず1日目、昨年9月の例会で報告頂いた、小浜・伊勢屋旅館を訪問。

到着後はそれぞれ、橘湾を見ながら入れる日本一の足湯を楽しみ、また、カキ焼きを堪能しながら、夜の懇親交流会までの時間を過ごしました。

交流会では伊勢屋旅館の社長と女将さんに交流の輪の中に入って頂き、酒をくみ交わしながら、



お話しを聞くことができました。また会員同士も普段の例会懇親会とは違った雰囲気（浴衣とお酒？）に話も弾み、より深い交流ができました。

2日目は(有)シキシマ→(有)上田自動車→(株)落水正商店の順で訪問しました。

1軒目のシキシマさんでは竹輪の製造工程を見せて頂き、できたての竹輪や魚ハンバーグの味見をさせていただきました。やはりできたては非常に美味しく、その味に感動しました。会員の皆さんの蒲鉾の大量買いにはびっくりしました。

今後の展開として見学や体験ができるような工場に建て替えたいとの事でした。

2軒目の上田自動車さんでは、「九州に1台」のライン検査機を見せて頂きました。その価格、なんと2500万円！また乗用車のリースという

新事業を始められ、それまでの3倍の売り上げになり、その上、顧客の囲い込みができたと話されていました。

3軒目の落水正商店さんでは自慢のGPセンター (Grading and Packaging center) 鶏卵選別包装施設を見学をさせていただきました。入場する際に必ず手を洗い、消毒しなければ自動ドアが開かないという徹底した衛生管理・システムに驚かされました。

また選別包装がほぼ機械化されており、卵の殺菌工程・室内のオゾン殺菌・パック詰め工程には社長の卵への愛情を感じ、お客様が安心して良いものを食べていただきたいという社長の思いが感じられました。今後もさらなる挑戦を計画されているようで、その力強さも感じられました。



今回の移動例会で小浜・島原の地を巡り、各企業を訪問させて頂き、普段の生活では知りえない見聞を広げることができました。

(文責 中村寿也)

## 青年経営者会例会報告

|       |                                                                                                          |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時   | 2月15日(水) 午後7時                                                                                            |
| 会 場   | プリマヴェーラ (ホテルクオーレ長崎地下)                                                                                    |
| テ ー マ | 「他団体及び異業種の経済交流会」<br>～拉麺御殿団を迎えて～                                                                          |
| 報 告 者 | 拉麺御殿団 (らーめんごてんだん)<br>杉山洋一郎氏「つけ麺洋ちゃん」<br>渡辺 貴氏「らーめん柊」<br>平野 悟氏「ラーメン家・政」<br>楠葉 和哉氏「らーめんわけ」<br>下田 薫氏「らーめん点」 |



拉麺御殿団とは、ラーメンで長崎を盛り上げたいという思いを持った長崎のラーメン屋さんが集まって結成された団体で、5店舗の代表者から成っています。御殿団は、みなとまつり等のイベントに参加したり、2手に分かれて麺対決をしたりと精力的に活動しています。

今回の例会ではメンバーの中から4人の方にご参加頂きご報告頂きました。

また、青年経営者会してもこの様な形での例会は初めての試みでした。

初めに司会の橋本会員より、例会の趣旨説明、



拉麺御殿団の紹介が行われ、報告へと移りました。最初のうちはやや緊張されているところがありましたが、メンバーの1人から「自分達はラーメン屋なので、こういう場でお話する事には慣れていません。ご理解下さい。」とのフォローが入り、徐々に緊張が解れた様子でした。報告では、拉麺御殿団の成り立ちから、手がけたイベント、御殿団としてのメリット、デメリット、社員教育、お店のこだわりなど幅広くお話し頂きました。メリットの1つとして挙げられたのが、他のメンバーに負けない様に自分のモチベーションを保つ事ができる事でした。一方、デメリットは今のところないと断言された事は印象的で、本当に同じ志を持った良い仲間が集まったのだと感じました。

また、社員教育の一環として店舗同士でスタッフ交換を考えていると話され、私達にも試してみてもどうですかと提案されました。私達でもなかなか実行に移すのが難しい事を、すでに始めておられる事に驚きを感じました。

グループディスカッションでは各グループに1

人、報告者に入って頂きました。いつもとは違う雰囲気の中での刺激のあるディスカッションになったのではないかと思います。

最後に、「拉麺御殿団は将来どの様になるのですか？」という質問には「自分達は他県には負けたくない。他県の方から来てくださと呼ばれるようになりたい」という言葉で締めくくって頂きました

その後の懇親会にも4人全員ご参加頂き、例会で聞けなかった事等、情報交換を行いました。

とても刺激のある有意義な例会になったと思います。私達と同世代の方々が長崎を盛り上げようと頑張っておられます。私達も負けないように活動していきたいと思います。

今後も機会を設け、交流を行ったりイベント等を共にできればと思いました。

(文責 西村浩文)



## 53歳で、死んでいくことと生きて行く事を考えた時…

島崎 和紀 会員 (長崎浦上支部)

今から1年前の3.11東日本大震災後、私は自分自身の人生をもう一度見つめ直していました。不意を襲う震災とそれに追い打ちをかける津波。震災4日後の15日が私の53回目の誕生日でした。当初は不謹慎にもテレビでの映像を観て、凄い事になったものだとは傍観者的な立場でいました。震災から毎日悲惨な映像がニュース、ワイドショーで放送され、死者・行方不明者の数が倍々に増えていました。

誕生日を過ぎたあたりから、亡くなった方々はきっとやりたい事をやれないまま、やらなければならない事をやり残したまま亡くなっていったんだろうなあという考えがよぎりました。今、自分がやらなければならない事ってなんだろう。やりたい事はなんだろうと自問自答した時に、改めて今の仕事が好きだという事を再認識しました。

サラリーマン時代には先輩や同僚からのアドバイスでデザインを追及しましたが、独立してからは学ぶ相手が身近にいません。ホームペー

ジや映像制作というあらたなカテゴリーが増え、いずれも独学でマスターし技術的には満足していますが、自己流という事にコンプレックスを持っています。自己流を悪い事とは思いませんが、きちんとした基礎と概論を学ぶ事は自分にも仕事にも更には会社にも良い事なのだから、社員には申し訳ないけど暫く会社を留守にして勉強する事にしました。

幸いにも今期と来期の売上も満足いく数字が期待できそうなので、後は社員の頑張りを楽しみにしています。



# 広告募集

<4cm×9cm>

|     |     |               |
|-----|-----|---------------|
| 複数月 | 6ヶ月 | 12,000→10,000 |
|     | 4ヶ月 | 8,000→7,000   |
| 割引  | 3ヶ月 | 6,000→5,000   |

# 長崎県産業労働部と第2回 地域振興のための意見交換会を開催

◎2月15日、長崎市民会館 文化ホールにて長崎県産業労働部と「第2回地域振興のための意見交換会」を開催しました。

参加者は、県からは各課10名と同友会からは政策委員・理事・事務局9名でした。

今回は、同友会の例会スタイルで「長崎県を活性化させるには」をテーマに、3グループに分かれて90分間のグループディスカッション形式で実施致しました。

1グループに県産業労働部3～4名と同友会3名という構成で、まず同友会メンバーは自社紹介を、県産業労働部の皆さんには担当分野の内容を中心に自己紹介をして頂いた後、各地区での地域振興の取組み状況、課題、会員の皆様のお困り事、悩み、アピール・お願いしたい事項、伝えたい事柄等忌憚のない実務レベルで意見交換しました。

その後、グループ毎に発表を行いましたので、その内容をご紹介します。

## ＜第1グループ＞

発表者 芦塚 誠司 同友会事務局

- ・長崎県の現状として人口および企業数（特に中小零細企業）が減少。
- ・若年者人口の流出。働きたくても働く場所がない。
- ・県下振興へ向けて様々な取組みを行っている。地場企業の振興・新規企業の誘致等。新産業の振興。経営者として成長してもらえるような機会（経営者塾）の創出。
- ・製造業の労働人口が多く占めるほど、県民所得は高くなっていく。全国平均は21%だが長崎は14%。どうやって向上させていくかを考えていく必要があり、県はそこに注力している。
- ・地場企業の体力増強が必要。（雇用を創出させるために。）

## ＜第2グループ＞

発表者 吉田 清規

県南ブロック政策委員（長崎浦上支部）

- ・産業政策課として、よく話題になる観光・物産は担当されていない。
- ・製造業中心の産業振興ビジョンである。
- ・製造業の労働者人口は約10%。
- ・ボイラー、タービンをはじめとする新しい製造業シーズを作り出すための努力が必要。
- ・県として、長崎県活性化のために強い決意を持っている。

## ＜第3グループ＞

発表者 金井 政春 副代表理事（大村支部）

- ・中小企業にもっと手厚く支援してほしい。中小企業は地域に根ざしている。
- ・少子高齢化に伴う社会構造の変化に対応する必要がある。
- ・高齢化によって労働者不足になっている。定年制の延長等の対策を考慮すべき。
- ・県内学生、特に実業高校系の資格取得率は全国でトップクラス。学生は優秀である。しかし、その学生の県内就職率は全国と比較すると悪い方である。
- ・若い人が活躍できる場所の提供が必要。
- ・人材育成、教育を強化し、若年者の定着化に努め、県外流出を防ぐべき。（セミナーの開催）
- ・地域内消費を拡大させ、将来・老後の不安などを取り除く制度づくりが必要。
- ・労働条件、保育所等を充実させ、育児のしやすい環境を作る。

以上のように、活発な意見交換ができ、雰囲気良く進行できました。また、グループディスカッションなので、各々がそれぞれの立場での発言ができたのではないかと思います。

4月には、県産業労働部から中小企業向けの助成事業や人材育成支援事業などの新規事業説明会があります。是非参加して頂き、利用可能であれば申し込まれてはいかがでしょうか。

また、助成事業の中で現場からの改善内容等の提案がありましたら、積極的に伝えて頂ければ対応していきたいと言うことでしたのでご報告致します。

開催日時が決まり次第、皆様へ情報発信をさせて頂く予定です。

また、第3回 地域振興のための意見交換会は6月に開催予定です。次回は会員の皆様全員へご案内する予定です。ご期待下さい。

政策委員会あるいは県をはじめとした行政に対してお伝えしたい事項、ご意見、ご要望、ご提案等がありましたら、どしどしお寄せください。よろしくお願い致します。



# 中 同 協 専門委員会・連絡会 参加報告

## 経営労働委員会 参加報告

日 程：2月9日～10日（木、金）

会 場：東京同友会 会議室

参加者：町田 貴代人（長崎浦上支部）

近年、各種メディア等においても度々取り上げられることが多い、雇用の不安定化や所得格差、またこれらも含めた要因によって顕在化している若年層の貧困化と少子化への拍車といった社会的問題に対し、同友会会員企業としての関わり方を深く学び、考える大変貴重な体験となりました。

様々な角度からの講演内容や本会に参加された企業代表の方々との交流、意見交換を通じ、共感を覚える場面も多々あり、現状も含め将来的な自社の有り様につき、「目からうろこが落ちる思い」を得た次第でございます。

都心の方で、2年ほど前まで、新卒の学生を雇用したいと企業側が思っている、学生は大企業

に目を向けがちで、なかなか新卒の雇用は難しかったが、2年ほど前からは中小企業に注目する学生さんが多くなったのが特徴に思えるとのお話がありました。雇用できるチャンスが多くなり、受け入れられる企業側の準備が非常に大切である。しっかりと雇用体制の準備をして欲しいとの事でありました。

最後に多種多様な業種業態の方々との交流に加え、現実として目前にある多くの課題解決への糸口が、実例を交えた生の意見交換によってもたらされたこと。更には、長年に渡る実践レベルでの支援指導を元とした、深い知見に触れる機会に巡り合わせて頂いたことは感謝にたえません。

まだまだ、自身の経営者として将来像につきましては、忸怩たる思いがつのるばかりですが、共に学び励ます仲間の存在に感謝しつつ、今回の報告とさせていただきます。

ありがとうございます。

## 第2回 企業連携推進連絡会

日 程：2012年2月16日（木）

会 場：東京同友会 会議室

参加者：内山 洋二（長崎浦上支部）

九州の同友会では唯一の参加でした。いつもの様に前回の宮城での連絡会の反省報告と次年度の課題という事で、中同協国吉専務幹事と平田事務局次長から報告がありました。そして来月の全研での関連分科会である15分科会（成長を続けるためのグローバル戦略ー中国・ベトナムでの戦略転換と海外研修による社員共育ー）を引用、今回とても衝撃を受けた話題を交えながらの報告でした。それは、推進連絡会代表の畑野吉雄氏（大阪同友会代表）の関連発言でした。

以前アジア、とり分け中国に進出するという事は大変なリスクと膨大な経費が掛かることから、社運を賭けた進出でした。しかし昨今、香港、タイ、中国本土などの中小企業経営者間では、日本を支えているのは今まで大企業と信じられていたのですが、それが事実は優秀な中小企業が技術も雇用もそして社会貢献も大いに担っていることが分かって来ているようで、優秀な日本の中小企業と提携して共同で新しい事業を起こしたがって

るという事です。提携したいという会社が、団体で申し込んでくることも多くなっているとの事。中国の中小企業団体は、春の広州交易会で日本の企業に大挙来ていただき、商談会を行いたいと大阪同友会に申し込んでこられたとか、それ以外にも香港・ハワイ・上海・タイの中小企業の団体もその様な商談会を持ちかけられているという事です。中国の中小企業の基準は小さい所でも社員3,500人を抱えているという事です。また、ちなみにタイで現地語ができる社員を雇い事務所を設けると一人当たり、800万（日本円）。上海では600万かかるとも余談で申されました。経済産業省でも大臣を議長として支援会議を昨年10月、今年2月、そして6月に開催されます（同友会はメンバーに入っていないませんが、民間では日商・全国連・全中（中小企業団体）、国では経財相政務3役、金融庁、外務省、農水省政務官、経財相内局長・長官・地方局長、JETRO等（政府関連団体）、政府系・民間金融機関等）以上の報告がありました。次に畑野代表から、中同協企業連携推進連絡会におけるテーマ別研究・連携グループの創設に向けた取組を考えたいとの提案がありました。「1987年この前身中同協異業種交流連絡会としてスタート、2004年異業種交流・

ネットワーク推進連絡会、2007年企業連携推進連絡会となりましたが、2012年度には連携を促進、さらには新たな市場調査の研究・創造の為に仕組みが必要と考え、都道府県の枠を超えたテーマ別の研究グループを置き、継続的に成果発表、教訓の蓄積をしていける環境づくりと新たな仕事づくりの機会を増やすことを今後考えていきたい。その前提資料として、各同友会において企業連携等に関わる実態調査を同一フォームの用紙に記入して頂く様なご協力事を考えている」とのお話がありました。それに対し各委員から、「各同友会での事業の差、やっている所、やっていない所がある。実際グループは出来たが活動はまだだという場合もあり、各県同友会対象の調査は時期尚早ではないか」、また「今までは中同協では委員会の場は設けるが、提案はして来なかったの逆で歓迎する」などの意見が出ました。また各同友会での現状発言で注目した事は、クリップ富山では新入会員が入会するにあたって経営環境レポートを出して頂き、それを基に企業訪問、企業連携の模索、ビジネス交流会の資料、ビジネスマッチングに繋がっている。長野同友会の信用金庫ビジネスマッチング（信用金庫と同友会が共同企画）ではビジネスマッチングカードを作成し、マッチングと経営指針を作る会とも共同で増強にもつなげている。大阪同友会では「売りたい・買いたい」と銘打った企業交流をSNS（場づくりの場）を通し推進しようとしているが、環境づくりが大変との事。東京同友会では「国際ビジネス支援部会を立ち上げ、日本市場の成熟化、少子高齢化による潜在的購買力の低下傾向、バブル後の長引く不況社会不安を背景に大企業のみならず中小企業にとってもグローバル化は必要不可欠な問題と捉え、2011年7月27日発足会（第一回）、9月第二回（役員選出）、10月第三回（運営会議）、11月設立記念大会（JETRO、金融機関、行政など参加）、2月第四回（運営委員会）、今後は2ヶ月に一回のペースで開催し、会員から「今までになかったのがおかしい、退会しようと思ったが辞めずについていこう、これがやりたかった等」歓迎ムードが盛り上がっていると。そして会員がアジア、とりわけ東南アジアへの関心が高いと。またこれからは、会員要求の多様化（既進出と未進出企業・貿易か生産移転か、サービス業か・顧客は誰か等）、情報交流と研究、在日外国人中小企業家・事業者との情報交換、全国との交流等課

題も多い。そして委員長の仕事との関係か、タイとの交流がより具体的に進むと予想される。」と報告を頂きました。

最後に神奈川同友会川崎支部主体の新しい連携とマッチングを目指す・ビジネス交流会イベントに付いて報告があり、『2009年4月「第一回かわさき同友会まつり」としてスタート（同友会会員企業限定）出店55社来場240人、2010年7月「ビジネスリゾート2010」と衣替え（出店はオープン）出店90社来場者500人、2011年10月「ビジネスリゾート2011」信用金庫を巻込む（30万出資して頂く）出店130社来場者700人、合わせて企業PR・共同求人・会社案内掲示板設置、懇親会では缶ビールとつまみも販売、イベント広告と経費を抑え、出展費も15,000円（参加しやすい参加費）。今後は会員企業のビジネスマッチングをメインと捉え、全県につなげ、そして社員共育にも繋げて活きたい。』との報告でした。

最後に長崎の番でしたが、長崎でも、いい加減に動かないと変わらないことが美德と勘違いされかねません。そして、「相変わらず長崎では進んでいません、同友会以外では連携という事も進んでいると思いますが、やっと今期になり連携という言葉が聞かれ始めたことは喜ばしい事です。今後にご期待ください」と発言しました。そこで長崎県中小企業家同友会でも、企業連携の共同研究ができる委員会の設置が急務と思われますので、次年度からでも県に研究委員会の設置を切に希望いたします。また、東京・大阪の留学生の採用という動きも、当たり前になっています。留学生を育て、母国に進出する場合の礎にとの思惑もあるとの事でした。参加機会を頂き有難う御座いました。



## 広報委員会参加報告

日 程：2月17日（金）

会 場：東京同友会 会議室

参加者：島崎 和紀（長崎浦上支部）



基調報告は、宮城同友会 広報情報化委員長が報告者となり、震災支援のお礼と挨拶を行いました。震災数日後には全国の会員から様々な支援物資が届いたとの事で改めて同友会会員の行動力に感謝したそうです。約1000社の会員の中で411社が被害に合われたとのことで中小企業には多大なダメージを与えたようです。全国からの支援に宮城同友会はどのように応えたらいいか考え、「頑張っている。元気ですよ。」という事を証明しようとまとめたそうです。一番印象に残った言葉は「今後は復興モードから本来の学びの路線に戻す。」というお話で、そこには中小企業家としての強い意志が感じられました。

その後議題に沿って、各テーブル毎に全国から出席された会員からの発言をまとめ、発表者によって披露されました。どのテーブルからも今後はホームページやFacebookを重要視するとの発

表がありました。私のテーブルにおいて、京都同友会は広報誌を訪問ツールとしており、数名の担当者が手渡しし、各会員とのコミュニケーションを図っていると報告されました。参加者はそれぞれの広報誌を持参し配布していましたが広報誌を発信力のツールとしている意見が多くでした。東京同友会では多くの支部を抱えているため、ほぼ毎日例会があり、その中から情報を整理し掲載しているそうです。神奈川同友会からは役員は変わることがあり、方針も変化する場合があるが事務局は変わらないので継続性、計画性に於いて事務局は重要なポストであると発言されていました。また、同友会は内側のへの情報発信は強いが外へ向けての発信力は弱いとも言われていました。広報誌と機関誌との棲み分けを考えてみてはどうかと埼玉同友会からの提案もありました。大阪同友会ではどの記事を良く読んでいるかのアンケートを取っているそうです。私は山領元委員長の発案である紙芝居を外向け発信ツールと会員増強ツールとしている事を申しあげました。また長崎は来期が40周年にあたる年なので、外へ向けての大きなアピールを計画してもいいかもしれないと発言しました。福岡同友会では来期50周年事業の一つとしてCDを計画しているそうです。Facebookを外部への情報発信ツールとするのなら会員以外の利用者が気軽に見る事ができるよう工夫が必要だし、ホームページなら中小企業経営者が訪問しやすい対策が必要かと思います。

翌日に仕事を控えていたため、スカイツリーの雄姿を観る事もなく寒波襲来を避けるように足早に東京を後にして帰ってきました。

## 第1回 青年部連絡会及びあいち青年同友会合同例会参加報告

日 程：2月18日（土）

会 場：今池ガスビル 7階 B会議室

参加者：青年経営者会 会長 西村 繁彦

私は今回の連絡会に参加して、まず、全国と長崎の差を感じました。それは、皆、近隣県とつながりを持ち、連絡を取りあい、色々な計画をして、協力し、援け合い、若い力で頑張って地域を盛り上げて行くという思いがとても強かったからです。

私は長崎でも行動していないのに、「九州は？」と聞かれ、恥ずかしい思いでした。

その後、あいち青年同友会 合同例会に参加し、ここでも人数の多さ、活気の凄さ、長崎では感じ

取れないものがありました。

何が違うのか、考えたのですが、確かに人数の多さが活気にも繋がると思うのですが、それ以上に、行動力があると思いました。

正直、合同例会の参加に2泊3日もかけ、自分の仕事まで休んで参加する必要があるのかとも考えました。しかし、実際にその場に行くと全国各地から同じ立場、同じ年代ばかりが集い、その中で私も自分の考えを主張し、それに対して意見を頂き、とても勉強になりました。分科会においても、自分の今の悩みに直した報告で、とてもためになりました。

そして、面識のある北九州の方と少し深い話がする事ができ、この時、まず知り合いを増やし、関わりを多く持ち、話せる人を増やすことが大切

なのではと感じました。これまでは、青年経営者会だけで精一杯なのに、頑張って支部例会だけでも参加しなければと義務のように考えていたところがありました。しかし、今回愛知に行かせてもらい、同友会の良さ、活かし方を理解していなかったことに気づきました。仕事には何ら関係もなくても自分を成長させる為、高める為にとそれを望んでいたのに・・・と初心に戻れた気がします。

これから、長崎同友会はもとより、全国の同友

会の良さを伝えるためにはどうすればいいのか、実際参加しないと解らないと思いますが、まず、関心をもってもらうために魅力を伝えていきたい、こんなに良い会なんだと自分の経験を話し、会員を増やして活気をもたせ、青年経営者会から長崎に元気を、そして、長崎から九州を、全国を盛り上げていけるよう目標を持って仕事と両立し頑張りたいと確信しました。

本当に、参加させて頂き有り難うございました。

## 女性部連絡会 参加報告

日 程：2月20日（月）

会 場：大阪同友会 会議室

参加者：石橋 ゆかり（諫早支部）

まず始めに広島同友会女性部会担当理事の庄司美登里氏の「人を生かす経営をめざす～男性も女性も働きやすい職場づくり『中小企業経営と介護問題』調査報告から」という実践報告がありました。

38歳の時に新聞広告をみて会社の面接を受けたが、本当は女性ではなく男性を雇用したいと言う社長の説明があったそうです。

なぜ募集広告にその旨を書いていなかったのかというと、男女雇用機会均等法で女性は駄目と記入できなかったそうです。

その会社もバックアップしてくれている企業が経済状況の悪化により、撤退し大きな傘が取れると、会社の経営がうまくいかなかったそうです。そこで、バブル時代に買った土地を売り、経営がうまくいかなかった会社を引き継ぎ、現在は社長として頑張っておられるとの事。同友会の女性部には秘めたパワーがあると確信されたそうです。

男女雇用機会均等法＝ワークバランスは広島の女性会議で「自分達でやらなければならない」と言う意見の中で、「子育て支援」＝「子供を育てる」勉強を始めたのが5年前だそうです。育児は良いよね、明るい未来があるから！でも介護は違うよね・・・という事で介護の勉強も始めたそうです。経営者自身が介護で困っていることをアンケート調査した所、親が死ぬか、自分が死ぬかという所まで来ているそうです。介護で疲れた人が起す事件などもあります。では実際にどうしたら良いのかの問いに答えはありません。しかし、行政には相談する場所がたくさんあります。普段の経営の中で社員の家族はどうなんだろう、人としての基本的な事を忘れてはいけないと思います。

次に内閣府共催男女共同参画推進事業シンポジウム「女性の視点でビジネスに新風を」の開催報告が埼玉女性経営者クラブ・ファムの岡部千恵氏よりありました。

内閣府を利用して会議を行い、女性の視点をビジネスに生かしています。同友会の良さは異業種が多いので、経営者同士学び合えるのが他の会には無いことと言えます。

クラブ・ファム自体が本音で言い合って、例会後の反省会でも失敗は失敗と認め合える、だからこそ経営者同士で団結し、繋がっていける組織として成長して行けるのだと話されていました。

中同協の平田事務局次長よりAPECの報告がありました。中同協は内閣府と一緒に50名の同友会の人出席し、国際的な関係作りをしてきたそうです。私たちも政策・提言・要望をしていきたいものです。大きな事をやる為には、小さな事を積み上げ、皆が力を合わせていかないと痛感しました。

その時には、やはり理念が必要ではないでしょうか。



## 障害者問題委員会 参加報告

日 程：2月21日（火）

会 場：大阪同友会 会議室

参加者：原田 良太（佐世保支部）

### <議 題>

#### 1. 第16回障害者問題全国交流会

##### <タイトル>

『今、一歩踏み出そう！！』

ともに生きる社会づくりへ』

##### <サブタイトル>

“なんで、できひんねん！”から

“どないしたらできるんやろ？”へ

※視点を変える事で社員と社長の距離が縮まるのでは…

##### <開催目的>

①大阪同友会の障害者問題への取り組みを大きな運動につなげ、社員と共に育つ意味や、成長・発展する企業づくりへの実践を学び合う機会とします。

②同友会からの発信で「福祉の街 大阪」のムーブメントを起こそう！！企業、地域、行政、福祉、医療、教育などの関係者が集い、障害者と共に生きる社会づくりに向けたネットワークづくりと、障害者等の自立・就労を実現するための環境づくりを進めます。

（日程）2012年9月13日～14日

（会場）帝国ホテル大阪

目標：500名規模

分科会担当や参加人数目標について確認

#### 2. 「人を生かす経営推進協議会」と「人を生かす経営全国交流会」について

「人を生かす経営推進協議会」についてはこれまでの経営労働委員会、共同求人委員会、社員教育委員会が合同で開催されていたが、同友会が目指す人を生かす経営を実践するための議論を深めるため、障害者問題委員会も参加する事となった

第3回「人を生かす経営」全国交流会について  
中同協（共同求人、社員教育、経営労働、  
障害者問題）4委員会合同企画

日 程：2012年11月15日（木）

13：00～

16日（金） 12：00～

会 場：名古屋国際会議場

規 模：600名

※障害者問題委員会としても分科会を担当す

る事となった

#### 3. 特別報告

「企業から見た視点で障害者総合福祉法の骨格を学ぶ」

・報告者：高橋 信二氏

滋賀同友会理事・ユニバーサル副委員長

#### 4. 各同友会の活動の交流

沖縄同友会の報告に、中村会員（長崎出島支部）の講演報告がありました。

#### 5. 2015年第18回障害者問題全国交流会について

愛媛での開催が決定。

#### 6. その他

・中小企業問題全国研究集会について  
福島県開催

・中同協第42回定時総会について  
2012年7月12日（木）～13日  
主会場：長良川国際会議場

#### 参加県

福島県、埼玉県、東京都、神奈川県

長野県、静岡県、愛知県、滋賀県

京都府、大阪府、兵庫県、岡山県

広島県、愛媛県、福岡県、長崎県

沖縄県、和歌山県

18同友会と中同協合せて45名が参加

#### <所 見>

今年度最後の障害者問題委員会に参加させていただきました。次年度開催を控えた第16回障害者問題全国交流会については、大阪同友会を中心に着々と準備が進んでいました。特に印象的だったのは“なんでできひんねん！”から“どないしたらできるんやろ？”というサブタイトルです。障害福祉に携わる者としては「出来ない」と言われている障がいのある方が「どうにかしたら出来ないか？」というチャレンジ精神で仕事に取り組んでもらうようにしています。この精神を障害分野だけではなく、障害者雇用をきつかに、すべての社員に同じような視点を持つ事で、社員と社長の距離を縮めるというお話がありました。「人を生かす経営」をキーワードに、良い会社を作る事を実践していきたいと思いました。

今回も参加の機会をいただきありがとうございました。

(敬称略)

|         |                                             |       |              |                                                                                   |
|---------|---------------------------------------------|-------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 長崎浦上                                        |       |              |  |
| 氏 名     | いとう ゆうじろう<br>伊東 祐二郎                         |       |              |                                                                                   |
| 企 業 名   | (有)ミナミモータース                                 |       |              |                                                                                   |
| 役 職 名   | 代表取締役                                       |       |              |                                                                                   |
| 企 業 住 所 | 〒850-0981<br>長崎市草住町274                      |       |              |                                                                                   |
| T E L   | 095-828-5722                                | F A X | 095-878-1177 |                                                                                   |
| 業 種     | 自動車整備業                                      |       |              |                                                                                   |
| 企 業 P R | 正直・勤勉・規律をモットーとしてお客様と心の通うサービスを築けるよう努力しております。 |       |              |                                                                                   |
| スポンサー   | 西山 展司                                       |       |              |                                                                                   |



|         |                                    |       |                                                                                     |
|---------|------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 長崎浦上                               |       |  |
| 氏 名     | やまぐち てるあき<br>山口 輝昭                 |       |                                                                                     |
| 企 業 名   | ㈲カーブティック長崎                         |       |                                                                                     |
| 企 業 住 所 | 〒859-0417<br>諫早市多良見町<br>舟津641番地3   |       |                                                                                     |
| T E L   | 0957-44-1822                       | F A X |                                                                                     |
| 業 種     | 一般貨物運送事業及び貸切旅客運送事業<br>(自動車輸送、バス送迎) |       |                                                                                     |
| 企 業 P R | 安全・快適・信頼をモットーに、特に安全運転に力を注いでおります。   |       |                                                                                     |
| スポンサー   | 上野 辰一郎                             |       |                                                                                     |



|         |                                                                                  |       |              |                                                                                    |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 長崎出島                                                                             |       |              |  |
| 氏 名     | おおさき ちひろ<br>大崎 千弘                                                                |       |              |                                                                                    |
| 企 業 名   | (有)黒岩商事                                                                          |       |              |                                                                                    |
| 企 業 住 所 | 〒850-0832<br>長崎市油屋町1-21                                                          |       |              |                                                                                    |
| T E L   | 095-822-2672                                                                     | F A X | 095-824-4125 |                                                                                    |
| 業 種     | 酒類・健康食品販売業                                                                       |       |              |                                                                                    |
| 企 業 P R | 名入れのお酒をインターネット通販で全国に販売中。<br>1本当り2100円から各種。<br>ヤフーショップでは父の日4年全国1位(日本酒部門、<br>焼酎部門) |       |              |                                                                                    |
| スポンサー   | 大崎 悠史                                                                            |       |              |                                                                                    |



|         |                                                                             |  |       |                                                                                      |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------|--|-------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 長崎出島                                                                        |  |       |  |
| 氏 名     | ふじむら たかし<br>藤村 隆                                                            |  |       |                                                                                      |
| 企 業 名   | 藤村昆布海産(有)                                                                   |  |       |                                                                                      |
| 役 職     | E C 事業責任者                                                                   |  |       |                                                                                      |
| 企 業 住 所 | 〒851-2106<br>西彼杵郡時津町<br>左底郷276-5                                            |  |       |                                                                                      |
| T E L   | 095-886-8818                                                                |  | F A X | 095-881-7722                                                                         |
| 業 種     | 海産物卸商                                                                       |  |       |                                                                                      |
| 企 業 P R | 1950年創業。<br>昆布をはじめとした各種海藻類、煮干、焼きあご等を取り扱っています。お客様との信頼関係を第一に考えた営業活動に努めてまいります。 |  |       |                                                                                      |
| スポンサー   | 中村 貢一                                                                       |  |       |                                                                                      |



|         |                                                     |       |              |                                                                                     |
|---------|-----------------------------------------------------|-------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 長崎出島                                                |       |              |  |
| 氏 名     | いけやま こうたろう<br>池山 耕太郎                                |       |              |                                                                                     |
| 企 業 名   | 池山税理士事務所                                            |       |              |                                                                                     |
| 役 職     | 所 長                                                 |       |              |                                                                                     |
| 企 業 住 所 | 〒850-0901<br>長崎市本石灰町6番<br>10-301号                   |       |              |                                                                                     |
| T E L   | 095-816-2020                                        | F A X | 095-816-2021 |                                                                                     |
| 業 種     | 税理士事務所                                              |       |              |                                                                                     |
| 企 業 P R | 長崎の中小企業を全力でサポートします。<br>経営上の悩み事などございましたら、お気軽にご相談下さい。 |       |              |                                                                                     |
| スポンサー   | 濱田 利夫                                               |       |              |                                                                                     |



|         |                                                                                |       |              |                                                                                       |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 名   | 大 村                                                                            |       |              |  |
| 氏 名     | しもさか み き<br>下坂 美紀                                                              |       |              |                                                                                       |
| 企 業 名   | ㈱ピーネン ミツバチ薬局                                                                   |       |              |                                                                                       |
| 役 職     | 取締役                                                                            |       |              |                                                                                       |
| 企 業 住 所 | 〒856-0817<br>大村市古賀島町593-2                                                      |       |              |                                                                                       |
| T E L   | 0957-48-5210                                                                   | F A X | 0957-48-5200 |                                                                                       |
| 業 種     | 医薬品・健康食品販売業                                                                    |       |              |                                                                                       |
| 企 業 P R | ミツバチの行動は叡智に満ちています。<br>私たちもそのように人々の中で働いていくことができ<br>ることを目指しています。<br>よろしく願いいたします。 |       |              |                                                                                       |
| スポンサー   | 金井 政春                                                                          |       |              |                                                                                       |



液化石油ガス（LPG）販売の県内最大手チヨウブロ（西彼長与町、荒木健治社長）がメガソーラー（大規模太陽光発電所）事業に参入する計画を進めていることが10日、分かった。県内を中心に数カ所を建設候補地として検討。今秋にも稼働したい考え。

### 今秋の稼働目指す

チヨウブロは、1949年創業。業務、家庭用プロパンガス販売や家庭用太陽光パネルの設置などを手掛けている。同社によると、太陽光と風力などで発電した電力の全量買い取りを電力会社に義務付ける「再生可能エネルギー特別措置法」の7月施行を見据え、昨年10月ごろから検討。見直しを進めている。今後、

計画では、1日<sup>1</sup>2<sup>1</sup>時（約3000世帯分の電力消費量に相当）<sup>1</sup>2<sup>1</sup>分の発電が可能<sup>1</sup>な施設を2、3カ所建設する予定。

現在、太陽光発電大手のソーラーフロンティア（東京と

# 今秋の稼働目指す

る計画を進めていることが、ただに数カ所を建設候補地として考え。

**画目指す**

計画では、1ヵ月時(約3000世帯分の電力消費量に相当)12ヵ月の発電が可能な施設を2、3カ所建設する予定。

候補地 平戸、長崎、南島原など

事業計画などの書類を作成し、九州電力に提出。送電線などの対策工事費の見積もりがけで決まり次第に入庫。候補地にな用地交渉、候補地と本格的には平戸、長崎、南島原各市などの用地が挙がっている。

チョープロによると、1メガワットの規模の発電所建設には、一般的に約1・7畠の土地と3億5千万円程度の設備投資が必要とされるという。

荒木社長は「県内で使われていなかった土地を有効活用できれば、地域貢献ができる」と考えている。地域経済の活性化にもつながれば」と話している。

（戸羽信介）

# メガンソーラー事業参入

# 會員情報

▼長崎新聞（3月2日）大村支部 山口成美会員



県特産品新作展

## 入賞13点を表彰

2010年12月以降に市販化した商品を対象とした「第43回県特産品新作展」の表彰式が1日、県庁であり、最優秀賞（4点）など入賞作13点の開発者らに表彰状を渡した。

▽農産加工・酒・飲料品  
▽水産加工品▽菓子・スイーツ▽工芸・日用品の4部門で募集。最優秀賞に長崎空港ビルディングと沖田製菓舗が共同開発した「手作りキャラメル ジャガメル」やT・Mエンタープライズの「白磁美人小町」朱巻（しゆまき）などを選んだ。

表彰式で中村法道知事は「商品を紹介していきたい」と

来月11日から浜屋で販売

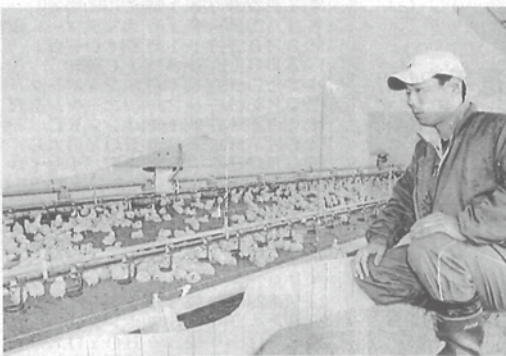
とあいさつ。試食して商品のこのこだわりについて受賞者と意見を交わした。

「黒田五寸人参プレミアム」で最優秀賞を受賞したシュシュの山口成美社長は「受賞を励みに長崎生まれの商品の良さを発信したい」、「魚屋の鯖(さば)の燻製(くんせい)」が最優秀賞となった竹野鮮魚の松田充佐子代表は「新鮮な魚を手軽に食べられるような商品を考えたい」と喜びを語った。

入賞作は4月11日から長崎市浜町の浜屋百貨店で開く「春の県産品まつり」で販売する。

# 悪臭対策に微生物

島原の養鶏農家など導入



消臭のための菌体を導入した渡部ブロイラー

たと話している。  
同市有家町の養鶏業「渡部プロイラー」は昨夏、有機廃棄物処理ジステムの開発などを行う「豊栄物産」（鹿児島市）が開発した菌体「バイオグリンマルトク」を導入した。ここ一年ほど苦情が続いていた臭いの対策を考えるなかで、環境保全事業などを行う「太陽商事」（諫早市）の勧めで導入したという。

渡部プロイラーは年間60万羽を出荷。鶏舎に敷き詰める木くず1立方メートルあたり1000gの割合でまいて使っている。豊栄物産によると、アンモニアなどの悪臭を5〜9割カットできるという。

渡部プロイラーの渡部誠二さん(37)は「経費はかさむが、バラバラとまく程度で効果が表れてくる」と語る。堆肥舎で作業すると臭いが服に染み付いていたが、導入後は臭いがいなくなったという。周辺の3農家もほぼほぼ同時期に使い始めたという。

太陽商事によると、この菌体は県内外の養豚、養牛、鶏卵の分野でも導入され、悪臭を抑えるなどめ家畜のストレス軽減につながるが肉質の向上も期待できるとしている。

▼長崎新聞（2月10日）諫早支部 北御門孝廣会員



「上がるのか」と気をもむ

3年連続稚魚不漁 値上げ再び

養殖ワナギの稚魚シラスワナギが3年連続で不漁の見込みとなり、取引価格が高騰。ワナギどころ、諫早市の中なき専門店は悲鳴を上げている。昨年の不漁の際に値上げた店が多いが、各店舗ともさらに値上りしている。

今ほとんどの店では値上げし過ぎないよう考えている。

うなぎ専門店 悲鳴

「手届かぬ存在にしたいくない」

[illegible]

# 第41回 定 時 総 会

会 場 ホテルニュー長崎

日 時 4月21日(土)

15時 開 会

16時 記念講演(内容)

「長崎県の経済発展に関して、ビジョン、  
我々中小企業家に望むこと等」(仮)

長崎県知事 中村 法道 氏

17時 懇親交流会

## 4月支部総会・例会案内

### ●現県南ブロック(来期長崎支部)

日 時 4月28日(土)  
会 場 ホテルニュータング  
内 容 第1部 支部総会  
18時30分  
第2部 懇親交流会  
19時40分

### ●大村支部

日 時 4月24日(火)  
会 場 長崎インターナショナルホテル

### ●諫早支部

日 時 4月27日(金)  
会 場 諫早観光ホテル 道具屋

### ●佐世保支部

日 時 4月25日(水)  
会 場 佐世保第一ホテル

### ●北松浦支部

日 時 4月26日(木)  
会 場

### ●青年経営者会

日 時 4月11日(水)  
会 場 プライムステージ3階 会議室  
テ - マ 会社を存続させる為の仕組みづくり  
~含み資産と利益剰余金の違い~  
報 告 者 (株)ホロスプランニング  
川本 昇平 会員

## 理事会報告

### 2012年3月理事会 議事録 抜粋

2012年3月1日(木) シーハットおおむら

#### 仲間づくりについて

- 1) 入会・復会・交代・退会の承認について  
-入会5名、復会3名、交代1名、退会2名を承認。
- 2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について  
《総括》上谷仲間づくり委員長  
各支部入会見込みの方へのアピールを最後までよろしくをお願いします。  
また、3月は退会者が発生しやすい時期です。フォローも併せてお願いします。

#### 報告・連絡事項

- 1) 2月 県本部・各ブロック・各支部・各委員会等の活動状況について
- 2) 例会について・例会委員会開催報告-中村例会委員長

#### 3) 第2回 地域振興のための意見交換会

開催報告-町田政策委員長

今回は同友会の例会スタイル(グループディスカッション)で開催しました。

次回以降の意見交換会(5月~6月に開催予定)は全会員の方へ告知し、参加を促したいと考えています。

宮田支部長-同友会形式での開催、非常に良かったです。  
より近い距離で、活発な意見交換ができました。こういった委員会の活動が同友会のアピールに繋がると 생각합니다。

#### 4) 所属支部変更申請の方

- ①多田長三郎さん 大村支部 → 長崎支部・浦上地区
- ②永木 保史さん 島原支部 → 諫早支部

#### 5) 中同協関係の件

- ① 主要行事の紹介と参加促進

- ② 中同協 企業連携推進連絡会 参加報告  
ー内山副代表理事
- ③ 中同協 広報委員会 参加報告ー島崎委員長
- ④ 福島への応援メッセージについてー山田事務局長
- ⑤ 福島全研開催 全国一斉記者発表取組みについて  
ー山田事務局長

#### 協議・承認事項

##### 1) 来期に向けて

- ① 理事人事についてー松尾代表理事ー承認  
共有委員長ー土井幸喜氏  
(株)ドゥアイネット (長崎出島支部)
- ② 第41回 定時総会について  
(前回までの理事会 承認事項)

#### 記念講演講師

長崎県知事 中村法道氏ー県のトップである知事の考えを  
直接伺いたい。

日 程 4月21日(土)を第一候補とするが、知事の  
日程に合わせる。 開催地 長崎市

※産業労働部を通して、4月21日で調整頂いています。

#### タイムスケジュール

- 15時 開会・定時総会
- 16時 記念講演
- 17時 懇親交流会

#### 記念講演内容

長崎県の経済発展に関して、ビジョン、我々中小企業家  
に望むこと等 をお願いしています。

#### 《今回提案(承認)事項》

- (1) 会 場 ホテルニュー長崎  
会 費 2,000円
- (2) 動員200名とそれに伴う各支部目標

|    | 浦上 | 出島 | 県南 | 大村 | 諫早 | 島原 | 県央 | 佐世保 | 北松浦 | 県北 | 合計  |
|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|----|-----|
| 目標 | 45 | 47 | 92 | 23 | 22 | 15 | 60 | 34  | 14  | 48 | 200 |

- (3) 交通費補助の支給  
一人当たりの金額  
大村・諫早支部 500円  
島原・佐世保・北松浦支部 1,000円
- (4) 役割分担の「三役会一任」  
1. 司会・定時総会 2. 司会・懇親交流会  
3. 議長 4. 記念講演謝辞 5. 来賓紹介

※受付は、「県南ブロックへ6名選任」を依頼。

上記4点に関して、提案通り承認。

- ③ 40周年記念事業並びに経営フォーラムについて  
ー岩崎委員長・千北支部長  
(前回の決議事項)  
40周年記念事業を佐世保で開催する。  
経営フォーラムとの関連については継続審議。

- (1) 記念講演の講師をジャパネットたかた 代表取締役  
高田 明氏に請けて頂きました。
- (2) 高田社長が「佐世保での開催ならば」ということで  
講演を請けて下さった経緯より、40周年記念事業  
準備委員会と佐世保支部より、「40周年記念 経  
営フォーラム」とし、佐世保での開催の提案あり。
- (3) 10月6日(土)九十九島観光ホテル での開催を  
提案します。

上記3点に関して、提案通り承認。

- ④ 予算についてー内山ブロック長、吉田財務委員長  
・県南ブロックー来期分の増額申請についてー承認  
吉田財務委員長より、来期、長崎支部に「会場費補  
助」として、10万円の拠出提案あり。
- ・経営指針づくり委員会ー「特別活動費」(セミナー対  
策)10万円の申請について  
ー来期、経営指針づくり委員会の活動推進のための予  
算申請あり。ー承認

- 2) 経営実態調査実施(調査内容)について  
ー町田政策委員長ー承認
- 3) 規約・規定の改定についてー山田事務局長  
組織改革に伴う 規約・規定改定(案)を提案  
「長崎県中小企業家同友会規約」に新たに設ける「三役会」  
の条文を一部修正し承認。  
「代表理事が招集し」の後に「原則として」を追記する。
- 4) e-doyu掲示板・広報誌広告基準について  
ー山田事務局長  
e-doyu掲示板の掲示並びに広報誌の広告掲載にあ  
たつての「基準」の提案を承認。

## 会員消息

### ●住所・電話・FAX番号変更

高平 雅文 会員 高平雅文保険労務士事務所(大村支部)  
新住所:〒856-0806 大村市富の原1丁目1168-9  
電 話:0957-27-4100  
FAX:0957-27-4101

### ●役職名変更

佐原 俊樹 会員 (株)佐原(島原支部)  
変更前 常務取締役 → 変更後 専務取締役

#### 退会者(敬称略)

| 会 社 名     | 会 員 名   | 支 部 名   |
|-----------|---------|---------|
| (株)京生苑    | 池 田 賢 治 | 長 崎 浦 上 |
| (株)エフエム諫早 | 酒 井 郁 子 | 諫 早     |

### 会 員 数 (3月1日現在)

|     | 長崎浦上 | 長崎出島 | 県 南 | 大 村 | 諫 早 | 島 原 | 県 央 | 佐世保 | 北松浦 | 県 北 | 合 計 |
|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 目 標 | 100  | 100  | 200 | 50  | 80  | 40  | 170 | 100 | 40  | 140 | 510 |
| 期 首 | 84   | 84   | 168 | 38  | 40  | 31  | 109 | 69  | 31  | 100 | 377 |
| 受付含 | 90   | 94   | 184 | 47  | 44  | 32  | 123 | 70  | 29  | 99  | 406 |